

水泳の水慣れについて！

前号でもお伝えしましたが、水泳の授業が始まり、私は、ほとんどの授業に監視や指導者として、子供たちの水泳の様子を見る機会を得ています。先日、1・2年生の授業を終え、すべての学年の授業に参加しました。子供たちの実態から痛感することは、「水が苦手」な子供が大変多いことです。低学年から高学年まで、顔に水がかかることに抵抗があったり、まったく水が顔にかからないようにしたりしている子がたくさんいます。「家で顔を洗ったりはしないの？」と尋ねると、「顔は、洗いません」ときっぱりと答えます。コロナ禍で水泳の授業が十分できなかった影響も大変大きいと考えます。

学校での授業は、一度に60～70人前後の児童を2～3のグループに分けて指導します。それぞれのグループの中でもまた、実態に差があります。ぜひ、我が子の状況を御覧いただき、御家庭でも遊びを交えながら、お風呂などで顔つけなどをしていただけると助かります。御協力をよろしくお願いいたします。

学校の基準服（制服）について

最近、ネットのニュースを見ていた際に、小学校でも制服のジェンダーレス化を進めている学校があるという記事を見つけました。その小学校では、男女関係なく、スカートやズボンが選べるそうです。海田町内では、各小学校で基準服があり、本校でも、男子と女子の基準服をお示ししています。町内の中学校でも、女子がスラックスを選択できるようになっています。本校でも、児童が様々な考えや気持ちで、従来の男子、女子にとらわれないで、ズボンやスカートを選択することを検討したいと考えております。もし、そういった御希望の児童がありましたら、御遠慮なく学校まで御相談ください。検討をさせていただきます。

校長の真面目な子育て日記③⑦

町内で小中学生の交通事故の報告がありました。本校でも4年生以上は自転車に乗れますし、1～3年生も走って遊びに行くこともあるでしょう。学区内は、車の通行の多いところがたくさんあります。また、細い道路から広い道路に出る場所もあります。学校では、機会あるごとに、児童に交通安全について注意喚起をしています。地域の方などから「危ないことがあった。学校でもっと指導してほしい」などのお声を聞くこともあります。おそらく御家庭でもお話をいただいていると思いますが、これから学期末、夏休みとなっていくしますので、事故の増える時期でもあります。かくいう私も、小学3年生の7月19日、当時自転車教室で免許をもらって1カ月足らずでしたが、自転車でT字路を左折しようとして、前方不注意でワゴン車にはねられ、全治2か月の大けがをして入院しました。入院が夏休みだったのが良かったのか悪かったのか分かりませんが、勉強は遅れずに済みました。ということで、この時期は、気持ちの面でも、夏休み前にうきうきして交通事故の起きやすい時期だと考えます。私がお子さんのところに比べると、車の量は圧倒的に増えています。児童の大切な命を守るため、口を酸っぱくして伝え続けなくてはいけないと思います。我が家のツンデレ娘も、中学生になり交友関係が広まり、遠くまで出かけることも増えています。もう中学生だから、いやいやまだ中学生だからと迷いながら、近年加害者になることもある自転車の乗り方について、今日帰ってから話してみようと思います。しつこいなあと嫌われないように気をつけます！